

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年3月3日

1. 世界最初のオミクロン株アウトブレイクで重症化減少：南アフリカ、ツワネ大病院症例
2. 南アフリカにおける新型コロナ感染のインパクト：時間的経過

## 【松崎雑感】

オミクロン株がやや軽症であることの確認データです。

しかし、デルタ株よりも若干軽症であるという事であり、毎日日本では200～300人の方が亡くなられています。

これは感染速度が速く、感染者総数が多いためと考えます。

# 世界最初のオミクロン株アウトブレイクで重症化減少：南アフリカ、ツワネ大病院症例

Abdullah F et al. **Decreased severity of disease during the first global omicron variant covid-19 outbreak in a large hospital in tshwane, south africa.** *Int J Infect Dis.* 2021 Dec 28:S1201-9712(21)01256-X. doi: 10.1016/j.ijid.2021.12.357. Epub ahead of print. PMID: 34971823.

## はじめに

2021年11月9日に、南アフリカ、ハウテン省、ツワネ市で世界最初のオミクロン株流行が発生し、入院患者は指数関数的に増加した。ツワネ市の大病院における感染者の臨床所見を、前回の流行と比較した。

## 方法

入院患者数は、2020年4月の流行時3976名、今回の流行時466名。ピーク時の98名の診療記録から、重症度、酸素投与療法状態、ワクチン接種・既感染状態などを収集した。市あるいは省全体の患者数、入院数、死亡数、超過死亡数は南アフリカ保健省と南アフリカ医学研究委員会からのデータから収集した。

## 結果

オミクロン株流行時と前回の流行時において、死亡率4.5%対21.3% ( $p < 0.00001$ )、ICU治療1%対4.3% ( $p < 0.00001$ )、入院期間4.0日対8.8日、平均年齢39才対49才。ピーク時のベッド占有率は前回よりも51%低かった。

感染者の63%は別の疾患として入院した患者だがPCRによって感染が確認された人々。新型コロナに典型的な肺炎は3分の1（36名）に見られたにすぎず、その72%は軽症か中等症だった。

28%はICU治療を要した。酸素投与の必要な患者の率は、オミクロン株流行時45%だが、前回の波では99.5%に登った。オミクロン株流行時の市および省全体の患者数と入院数、死亡数は前回の波よりも低く、軽症化の所見を反映していた。

## 結論

ツワネ市における第4波オミクロン株流行は以前の流行よりも軽症化を示した。

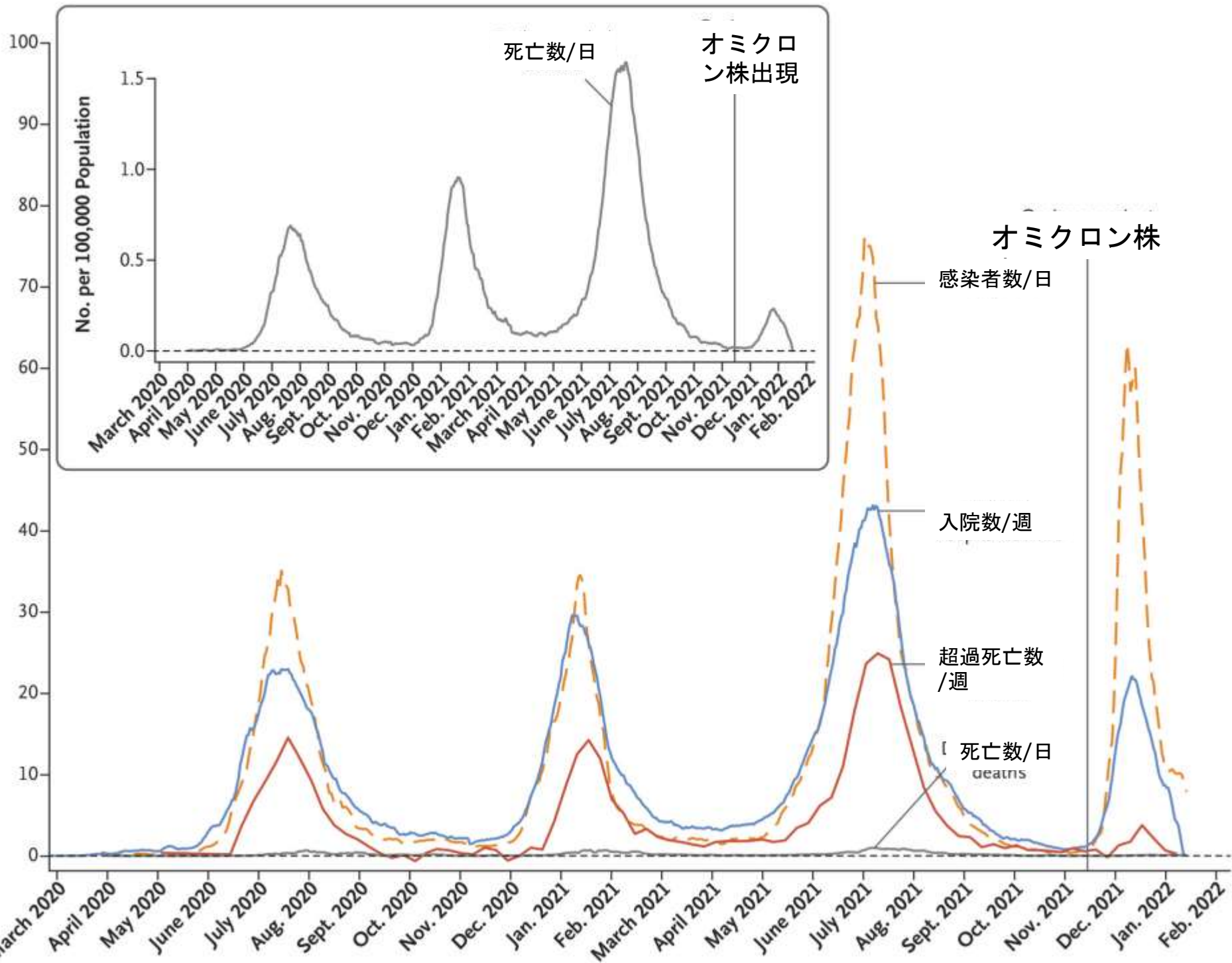
## 南アフリカにおける新型コロナウイルス感染のインパクト：時間的経過

Madhi SA ( South African Medical Research Council Vaccine and Infectious Diseases Analytics Research Unit) , Kwatra G, Myers JE, Jassat W, Dhar N, Mukendi CK, Nana AJ, Blumberg L, Welch R, Ngorima-Mabhena N, Mutevedzi PC. **Population Immunity and Covid-19 Severity with Omicron Variant in South Africa.** **N Engl J Med.** 2022 Feb 23. doi: 10.1056/NEJMoa2119658. Epub ahead of print. PMID: 35196424.

### 【要旨】

南アフリカでは、今回のサージの感染者数は、過去の感染サージと比べて、ずっと多くなっていますが、死亡者数は、ずっと少なくなっています。

人口10万人あたり発生数



死亡数/日

オミクロン株出現

オミクロン株

感染者数/日

入院数/週

超過死亡数/週

死亡数/日  
deaths